

2011年7月12日

各位

株式会社春帆楼

**ふく料理「春帆楼 名古屋店」2011年7月13日に移設拡大オープン！
～ 松坂屋名古屋店南館10階 ～**

「春帆楼(しゅんばんろう)」(本店:山口県下関市)は、2011年7月13日に「春帆楼名古屋店」(松坂屋本店南館10階フロア内)を、同フロア内に移設拡大オープンします。

店舗総面積は現在より9坪広い101坪、客席数は18席増の92席、着席宴会は最大68名を収容可能となり、より多くのお客様にご利用いただけるようになりました。店内は明るく広々とした空間となり、お買い物帰りや、ご家族やご友人仲間との語らいに、ゆったりとしたひとときを過ごせます。大小5部屋の個室は接待や各種ご宴会にも便利です。また、客席の8割が窓側となるため、店内から名古屋中心部の栄を南北に走る久屋大通りの眺望をお楽しみいただけます。

「春帆楼 名古屋店」では、このたびの移設オープンを記念し、春帆楼厳選の愛知県産地魚を使用した期間限定特別ランチをご用意いたしました。旬の食材を駆使した本格和食をお気軽にお召し上がりください。

■天然地魚特別ランチメニュー 2011年9月30日(金)まで.....

【天然鯛茶漬けランチ】

厳選した天然鯛に、特性の出汁とたっぷりの胡麻ダレでいただく贅沢なランチです。



- ◎天然鯛使用のお茶漬け
- ◎ふく刺身(小皿)
- ◎鯛わた
- ◎特製出汁
- ◎胡麻ダレ
- ◎茶碗蒸し
- ◎天然鯛のさつま揚げ
- ◎香の物

お一人様 2,100円(税込)

【地さかなランチ】

知多半島で水揚げされる新鮮な魚介類を料理長がさばき、お好みで煮物か焼き物を選べます。



- ◎本日の地魚
- ◎海老真丈
- ◎ふく皮サラダ
- ◎あさりの味噌汁
- ◎茶碗蒸し
- ◎ご飯
- ◎香の物

お一人様 2,100円(税込)

(※「ふく」…下関では、河豚(ふぐ)を“福”に通じるということで「ふく」と呼びます。)

「春帆楼」は、明治21年、伊藤博文が「ふく料理」を「春帆楼 下関本店」で食したことをきっかけに、日本のふく料理公許第1号の栄誉を担いました。同28年には日清戦争の講和談判会場となり、その名は全国に知られるようになりました。以降、山口下関の迎賓館として今日に至っています。

【「春帆楼 松坂屋名古屋店」概要】

住所： 愛知県名古屋市中区栄 3-30-8
松坂屋名古屋支店南館 10 階
営業時間：11:00～22:00 (L.O. 20:30)
TEL： 052-264-3828
FAX： 052-262-6330
座席数： 92席



以上

＜お問い合わせ先＞

「春帆楼 松坂屋名古屋店」
マネージャー 中川京子
TEL: 052-264-3828
春帆楼ホームページ <http://www.shunpanro.com/>

◆参考資料◆

～春帆楼の歴史～

【伊藤博文との深い縁】

豊前中津奥平藩の御殿医であった藤野玄洋が、現在春帆楼がある下関市阿弥陀町の地に明治10年月波楼医院として開業したのが春帆楼の前身です。その後、明治14～15年頃に藤野玄洋の妻ミチが、医院を接客用に改装し、中津から奉公人等を集め、料理店兼客館の営業を開始しました。「春帆楼」という屋号は、春畝という雅号を持つ伊藤博文が、春うららかな海の帆船を心に描いて命名しました。



初代内閣総理大臣
伊藤博文公

【ふく料理公許第一号店】

日本では、縄文時代からふくを食べる習慣がありました。しかし、安土桃山時代になり、豊臣秀吉が朝鮮出兵した文禄・慶長の役(1592～1598)の際、攻略の要であった下関で武士達がふくを食べて相次いで死亡したことから、豊臣秀吉が「河豚食用禁止の令」を發布、ふく食は禁止されてしまいました。

長らく禁止されていたふく食を復活させたのは、初代総理大臣・伊藤博文でした。今から120年前の1888年(明治21年)、伊藤博文が、春帆楼に立ち寄った際、海が時化(シケ)続きで魚がまるで捕れず、困り果てた女将は、手討ち覚悟で止むを得ずふくを御前に出しました。伊藤博文はこの旨さに驚き「一身よく百味の相をととのえ」と絶賛されました。そして翌年、「調理さえ心がければ」との条件つきで禁令を解き、それ以来、春帆楼は「ふく公許一号の店」として、広く知られるようになりました。



春帆楼本店外観

【日清講和条約(下関条約)締結の地】



日清講和条約調印式

1895年(明治28年)3月、日清講和条約の会場選びは、長崎、広島など幾つかの候補地があげられていましたが、伊藤博文が「下関の春帆楼で」と発表し決定。世界の外交史に名を連ねる日清講和条約(下関条約)は、当時の春帆楼2階の大広間で開催されました。こうして春帆楼は、世界史に名を残し、明治・大正期を通じて皇族や多くの政財官界要人、内外の顯官貴賓が足を運び、鉄道唱歌(九州山陽30番)の歌詞(「♪世界にその名いと高き馬関条約結びたる春帆楼の跡とひて昔しのぶもおもしろや」)や、司馬遼太郎の小説「竜馬がゆく」の文中でも紹介されるなど、下関の迎賓館として、各界著名人に愛されています。

■ 春帆楼の概要

【サービス】 宿泊・宴会・ブライダル・ふくフルコースを始め海鮮会席などのお食事・店舗展開・
ふく料理セットの宅配・PB商品の展開

【経営】 オリックスグループ 株式会社春帆楼

■ その他の店舗

・「春帆楼」下関本店

住 所： 山口県下関市阿弥陀寺町4-2

連絡先： TEL 083-223-7181 / FAX 083-232-7980

施 設： 宴会場2室、客室数10室(ご宿泊50名様)

<百貨店内>

・「春帆楼」近鉄阿倍野店

住 所： 大阪府大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 近鉄阿倍野店 10 階

連絡先： TEL 06-6625-2378 / FAX 06-6623-1692

施 設： 大小座敷(3室)、テーブル席(32席)

・「春帆楼」難波店

住 所： 大阪府大阪市中央区難波5丁目1番18号
高島屋大阪店内 なんばダイニングメゾン 9 階

連絡先： TEL&FAX 06-6633-3629

施 設： 40 席(半個室・ソファ席など 34 席、個室 1 室 6 席)

・「春帆楼茶寮」玉川高島屋 S・C 店

住 所： 東京都世田谷区玉川 3-17-1 玉川高島屋 S・C 南館 9 階

連絡先： TEL&FAX 03-3709-7200

施 設： テーブル席(34 席)

・「春帆楼茶寮」下関大丸店

住 所： 山口県下関市竹崎町 4-4-10 下関大丸 7 階

連絡先： TEL 083-235-8029 / FAX 083-235-8029

施 設： テーブル席(44 席)

<ホテル内>

・「春帆楼」広島店

住 所： 広島県広島市中区銀山町 10-17 ブルーウェーブイン広島内

連絡先： TEL 082-246-4999 / FAX 082-245-2300

施 設： 大小座敷(3室)、テーブル席(44席)

・「春帆楼」小倉店

住 所：福岡県北九州市小倉北区浅野2-14-65 ブルーウェーブイン小倉内

連絡先：TEL 093-531-4000／FAX 093-531-5120

施 設：大小座敷(2室)、テーブル席(32席)

・「風月茶寮」浅草店

住 所：東京都台東区浅草2-33-7 ブルーウェーブイン浅草内

連絡先：TEL 03-5828-4321／FAX 03-5828-6421

施 設：1階 50席、2階大小宴会場(最大 50名対応)

<デバ地下食品街>

・「春帆楼」高島屋東京店

ふく料理のテイクアウト専門店。イトイン 4席もある人気のデバ地下グルメ。

住 所：東京都中央区日本橋 2-4-1 高島屋東京店地下 1階

連絡先：TEL&FAX 03-3272-1029